

「基地のない沖縄をめざす宗教者の集い」
～ 普天間基地の撤去と辺野古新基地建設の中止を求める～
発足の趣旨

日本にある米軍基地の 75%が沖縄に集中しています。私たちは「命を大切にし、平和を守る」宗教者の立場から、沖縄が負わされている米軍基地の問題に取り組みます。

ある沖縄の宗教者は次のように訴えました。

「平和を甘受している日本の皆さん、皆さんの今日ある経済的發展と“平和ボケ”の裏にある、沖縄が<捨て石>同然、65年間、今日に至るまで戦後処理の犠牲にさらされている現実に目を向けてください。この平和の地を、沖縄のこころ、県民の声を無視し続けて、戦争に備え<太平洋の要石>として基地を押し付けている日本国民と日米両政府に、沖縄全県民は強く抗議し続けています。日本人は沖縄差別の潜在意識に自ら目覚めてほしい。これが那覇教区（カトリック）をふくめ、沖縄県全宗教者が終始一貫して発信しつづけている祈りです。」

私たちは沖縄県民に連帯し、こうした状況を放置してきた責任が私たち自身にあることを自覚し、勉強会や集会などを企画することによって、より多くの人々に沖縄の声を伝えていきたいと考えています。